

第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画  
の進捗状況について  
(平成30～34(令和4)年度<5年間>)

平成31年3月  
胎内市

## — 目 次 —

- 1 施設ごとの入込客数について . . . 1～2 頁
- 2 基本施策の進捗状況について . . . 3 頁
- 3 施設ごとの施策と進捗状況 . . . 4～11 頁
- 4 返地事業債を活用した計画（予定） . . . 12 頁

## 1 施設ごとの入込客数について

第2次樽ヶ橋エリア活性化委基本計画・実施計画における樽ヶ橋エリアの施設ごとの目標値と現状値は以下の通りです。

### 1-1 計画目標値<H30～H34年度までの5年間>

観光地点名	現状値					目標値	
	H29年度	H30年度	H31年度 (R1年度)	H32年度 (R2年度)	H33年度 (R3年度)	H34年度 (R4年度)	
観光交流センター	53,160	51,000	51,500	51,500	51,500	51,500	
樽ヶ橋遊園	34,140	35,000	37,000	39,000	40,000	41,000	
黒川郷土文化伝習館	3,340	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	
胎内市美術館	4,910	5,800	5,900	6,000	6,100	6,200	
クアハウスたいない	101,980	109,000	111,000	113,000	115,000	117,000	
越後胎内観音	19,590	21,000	21,500	22,000	22,500	23,000	
櫛形山ハイキング	6,970	7,000	7,500	8,000	8,500	9,000	
たるが橋里山食堂	8,660	13,000	15,000	16,000	16,000	16,000	
その他(ツルトン記念館)	3,920	3,900	1,200	1,200	1,200	1,200	
樽ヶ橋エリア合計	236,670	249,400	254,400	260,600	264,800	269,000	

### 1-2 H30年度の現状値

観光地点名	目標値	現状値	達成率	主な増減理由
	H30年度	H30年度		
観光交流センター	51,000	55,610	109%	GWは減少であったが新規イベント等により増
樽ヶ橋遊園	35,000	43,120	124%	大型複合遊具の設置と団体PRの拡大により増
黒川郷土文化伝習館	3,700	2,760	75%	繁忙期(夏休み期間中)の天候不順により減
胎内市美術館	5,800	5,850	101%	各企画展が好評であったため増
クアハウスたいない	109,000	85,730	79%	10月～11月の休館により減(12月以降は微増)
越後胎内観音	21,000	19,440	93%	大きな増減はなかった。
櫛形山ハイキング	7,000	9,350	134%	春と秋の天候が安定していたため増
たるが橋里山食堂	13,000	6,800	53%	5/8～7/2の休館により減(7/2以降は微増)
その他(ツルトン記念館)	3,900	2,760	71%	H29のTVメディアによる影響が落ち着いたため減
樽ヶ橋エリア合計	249,400	231,420	93%	2施設において約2ヶ月休館の影響が大きかった。

※H30年度の現状値はH31.1末時点でのH31.3末までの見込値

### 1-3 現状値のH30年度の評価・分析

大型複合遊具が新設された「樽ヶ橋遊園」や河川公園へのアクセス向上による利便性が高まった「樽ヶ橋観光交流センター」では入込客数が増加したものの、「クアハウスたいない」や「たるが橋里山食堂」で大きく数値が減少する結果となった。大きな原因としては、「クアハウスたいない」の改修工事による2ヶ月間の休館があげられるが、今回の休館は、辺地債を活用した大規模な設備更新工事によるものであり、施設の長寿命化を踏まえた、やむを得ない原因での入込客数の減少であった。

その結果、樽ヶ橋エリア全体としては、目標値 249,400 人に対し 231,420 人の入込客数となったものの、93%という達成率は、減少の主な原因を考慮すれば目標を「おおむね達成」することができたと考えられる。

平成 31（令和 1）年度以降においては、繁忙期の天候等にも大きく左右されるものの、樽ヶ橋遊園休憩所「たるる」の運用や「樽ヶ橋観光交流センター」の利便性向上などにより、さらなる入込客数の増加が見込まれるため、樽ヶ橋エリア全体で目標を達成できるよう引き続き各施設間の連携を深めエリア全体を訪れるお客様の誘客に繋げたい。

## 2 基本施策の進捗状況について

第2次樽ヶ橋活性化委基本計画・実施計画における樽ヶ橋エリアの基本方針実現に向けた基本施策の進捗状況は以下の通りです。

### 基本施策① 観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくりの推進

主な 施策内容	観光交流センターを観光交流・観光情報の発信地として、観光協会を主体とした 人員体制及び人材育成を強化します。
------------	---



評価・課題	○胎内市観光協会やカメラ女子によるホームページの更新やSNSでの情報発信が盛んに行われた。今後も積極的な情報発信を行う。 ▲樽ヶ橋エリア全体での連携した人材育成が成されていない。現地研修会や各施設の見学会等を実施して連携を図る必要がある。
-------	--

### 基本施策② 自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携

主な 施策内容	観光資源を有効に活用し、エリアの自然・歴史・文化・芸術・食・産業などの魅力を誘客に繋げるため、胎内リゾート魅力向上委員会を主体として、定期的に委員会を開催しながら、市内の事業者や施設間の情報共有と連携を図ります。また、イベントや体験等を活用したエリア全体での集客力の向上に取り組めます。(体験コースの設定、着地型ツアーとの結び付けなど)
------------	--



評価・課題	○着地型のツアーや各イベント（楡形山トレッキングツアー、楡形ウインドトレイル、健康ウォーキング等）で樽ヶ橋エリアの資源を活用した魅力を発信した。今後もエリアの資源を活用したツアーやイベントを行い誘客に繋げる。 ▲胎内リゾート魅力向上委員会を2回開催しワークショップを行った。施設間での情報共有はある程度取れているものの、誘客に繋がる議論が少なかった。各施設間で連携を深める取組みを検討していく必要がある。
-------	---

### 基本施策③ エリアへの訪問者の満足度の向上のための人材育成

主な 施策内容	エリアの各施設の担当が訪問者を気持ちよく迎え入れることができるように、観光ボランティアを含めた観光ガイドなどの人材育成を実施します。
------------	--



評価・課題	○樽ヶ橋エリア施設間の各担当が毎月定例会を行い情報共有が図られている。 ▲観光ボランティアガイドの人材育成は進んでいないが、樽ヶ橋遊園や胎内市美術館においては、ボランティア体制が確立されている。観光ガイドの育成のための研修会などを検討する必要がある。
-------	--

### 3 施設ごとの施策と進捗状況

#### (1) たるが橋観光交流センター

##### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

##### 【基本方針】

- 地域及び地域外との交流機能を促進することができる方策の充実
- 観光案内の充実に関する情報の確保
- 活性化を目的とした行政・地域と連携したイベントの企画と運営

##### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
営業・販売	情報発信の充実	・ペーパーレスとして発信の基本を「胎内観光NAVI」とし、情報の充実及び各所・グループとの連携を図る。 ・「胎内観光NAVI」を英・韓・中国語の3ヶ国語対応に更新する。	→					胎内観光NAVIのHPを3ヶ国語対応に更新した。	①	○	今後も情報発信を充実させるため、ツール(チャンネル)を増やしていく。
	取扱特産品の種類の充実	・胎内市内の取扱特産品の調査・検討を行い商品の充実を図る。 ・「そこに行かないと買えない」付加価値の連携強化を図る。	→	→	→	→	付加価値のある商品の検討を行い、地域おこし協力隊との協力を得て「まこもだけ」や「神楽米」の販売を行った。	②	○	継続的に新商品の導入に努めていく。	
	観光ツアーの充実	・キノトラベルなどと連携し、新規の胎内市観光ルートの醸成を図る。 ・関係先と連携を図り、同じツアー繰り返さないよう企画する。	→	→	→	→	DCのルートづくりの足がかりとなるツアー(北前船・乙宝寺ツアーなど)を実施した。	②	○	観光ルートの発掘を積極的に行い継続していく。	
人材	案内の充実	・お客様への「わかりやすい」案内に努める。 ・樽ヶ橋エリア施設間の連携を強化し、漏れの無い案内・紹介に努める。	→	→	→	→	「わかりやす」案内に努めた。下見を行い案内の向上を行った。	①	○	地域おこし協力隊などから情報収集を行い引き続き案内の向上に努める。	
	観光協会の人材育成・組織の強化	・定住自立圏、阿賀北広域観光圏づくり推進協議、新発田・村上エリアなどの枠組みへの参加により人材育成の強化を図る。 ・必要な研修会を実施し意識の向上を図る。	→	→	→	→	DCや阿賀北ガールへの参加など定期的に人材育成の強化に努めた。	②	○	継続的に人材育成と意識の向上を図る。	
	観光ボランティアガイドの人材育成	・胎内市を案内する観光ボランティアガイドの人材育成を行う。	→	→	→	→	人材育成に有効な方法を模索できず、実施できていない。	③	×	現場での研修会などを行いガイドのスキルアップや新規ボランティアガイドの育成に努めていく。	
施設	電気自動車用充電設備の活用	・道の駅として電気自動車用充電設備のサービス向上を図る。	→	→	→	→	実施した。	③	○	今後も設備の活用を周知していく。	

※DC(デスティネーションキャンペーン)とは、JRグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーンのこと。  
(新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン「日本海美食旅」)

##### 【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	11,946	修繕費・施設運営委託料など
H31	11,449	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H32	11,346	修繕費・施設運営委託料など
H33	40,146	修繕費・施設運営委託料など
H34	11,346	修繕費・施設運営委託料など

## (2) 樽ヶ橋遊園

### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

### 【基本方針】

- 見るだけでなく、動物たちと触れ合える動物園

### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
営業・販売	周辺施設との連携による一般・団体客の獲得	・ロイヤル胎内パークホテルや市内施設と連携し、また、広域の保育園や小学校等にPRを強化し、来場者の誘客を図る。	→					近隣約350(100→350)件の保育園・小学校にDMによる誘客を行い利用団体が約2倍(20→44)に増えた。しかし、ロイヤルと誘客に繋がる連携が取れていない。	①②	△	ロイヤルを中心とした胎内リゾート各施設と提携を行い来場者の誘客を図る。(例えばフィッシングパークに動物のエサ引換券を置くなど)
	ポスター・リーフレット等、啓発物のリニューアル及び宣伝広告活動	・辺地債による改修計画と合せポスター・リーフレット等、啓発物のリニューアルを実施する。また、施設の改修後のリニューアルオープンに伴う宣伝広告活動に努める。	→					大型遊具の設置に伴いリーフレットをリニューアルした。	①	△	今後の改修計画に合せ、リニューアルオープンの準備を進めて行く(ポスター等の啓発物)。
	シーズンパス券・ポイントカード等、優待特典等の導入	・来場者の満足度の向上を図るため、アンケートを実施し多くの意見を考慮して、年間シーズンパス券やポイントカードの導入について検討する。	→					来場者アンケートを実施した。シーズン券やポイントカードの導入を検討中。	③	△	リニューアルオープンに合せシーズン券やポイントカードを導入できるよう準備を進める。
施設	辺地債を活用した施設の改修を計画。	・辺地債を活用して、老朽化した管理棟や動物舎の改修、園内のインフラ整備・更新と機能強化を計画し、H33年度までの履行を目指す。	→					H30.3に樽ヶ橋遊園休憩所「たるる」が竣工した。	④	○	今後も園内の改修と整備を計画的に進める。
	自動販売機・売店コーナーの充実。	・園内散策の満足度を向上させるため、園内の動物が背景になったプリクラ写真コーナーや売店コーナー等の充実を図る。	→					改修工事による影響で自動販売機コーナー等を充実させることはできなかった。	③	×	H31年度に新しくできた休憩所「たるる」にアイスクリーム等の自動販売機を設置する。
	シーズンオフ時の施設の有効活用。	・冬季期間中にスノーシューを履いて冬の園内を散策したり、普段見ることない冬の動物たちを観察するようなイベントを企画し、新たな施設の魅力を発見する。	→					改修工事による影響で冬季の施設活用を実施できなかった。	③	×	休憩所「たるる」で冬季の利用やイベント開催などシーズンオフ時の有効活用を検討していく。
人材	ガイド説明スタッフの育成。	・リゾート・樽ヶ橋エリアを含む、自然・歴史・文化・動物を含むガイド説明を行える人材の育成。また、新たな樽ヶ橋遊園の魅力やHPやブログ等で積極的に情報発信する。	→					保育園等の団体に動物ガイドを5回行った。月2~3回のペースでブログやFBを更新し情報発信した。	③	△	ボランティアガイドの方と協力してガイドの人材育成を検討していく。今後もブログを積極的に更新していく。

※FB…フェイスブック

### 【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	192,358	運営需要費、施設改修工事費など
H31	154,088	運営需要費、施設改修工事費など
H32	519,357	運営需要費、施設改修工事費など
H33	14,657	運営需要費など
H34	14,657	運営需要費など

### (3) 黒川郷土文化伝習館

#### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

#### 【基本方針】

- 誰でも気軽に楽しめる体験プログラムの充実化を図る
- 単なる生涯学習施設ではないスタッフの対応と展示の面白さを追及

#### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
プログラム	新たなプログラム (見学・体験)の 開発	・黒川城、蔵王山(親子登山、PTA登山、ふるさと 体験学習)の体験登山の定着化	→	→	→	→	→	PTA鳥坂山登山を実施	②	○	継続して実施する。
		・子ども会対象の体験教室メニューの開発。 ・子ども向け民具体験シートの更新(雪国体験 シートの追加) ・テーマ別スライド(北前船と胎内市)の作成。出 前講座の開催。	→	→				市内小学校向けに体 験シートを作成し、学 習会等を実施した。	②	○	国民文化祭新潟開催 を契機に北前文化を 発信する。
		・H30年度美術館事業と連携したイベントの実施	→					美術館企画展に合 わせて民具体験・縄文 体験を実施。	②	○	継続して実施する。
	企画展の開催、 展示替えの実施	・市民から寄贈された民具の展示、公開 ・H30年度は隣接する胎内市美術館と連携企画 展を予定(胎内市船絵馬展等)	→					民具の公開を実施。	②	○	H31年度以降は美術 館の縄文・弥生展にあ わせて企画展を実施 する。
		・民具体験コーナーの充実(新寄贈民具、胎内 ゆかりの民具体験コーナー)	→	→				民具体験コーナーを充 実した。	②	○	よりわかりやすい説明 板を設置する。
	胎内市の文化 財・遺跡を紹介す るツアーの実施	・蔵王山登山(6月)、太古のロマン大波石ウオー キング(7月)、米沢街道、大櫓を歩く(9月)、北 前船文化巡り(10月)、黒川氏の軌跡をたどる (黒川城、黒川館跡、家臣団居館跡等)(11月)	→					今年度は、樽が橋エリ ア周辺の文化財巡りを 実施。	②	○	H31年度以降は遺跡 めぐりや、隠れた文化 財の見学会等を実施 する。
体験プログラ ムの更なるPR	・市内小中学校への体験プログラム資料の配布 ・雑誌、書籍等での施設の体験内容の紹介	→	→	→	→	→	縄文ジュニアガイドを 作成し小中学校に配 布	②	○	小中学校の出前授業 を実施する。	
施設	胎内市の歴史文 化を発信基地とし ての認知度の向 上	・NHK等で体験学習の紹介	→	→	→	→	→	NHKのニュースや地 元新聞社が報道した。	①	○	積極的のPRしていく。
		・東京国立博物館、フランスパリ博物館等への 出展(縄文時代漆製品) ・市報「たいない」胎内市の歴史探訪での紹介	→					・東京、フランスの博 物館等へ出展(縄文時 代漆製品) ・市報「たいない」での紹 介	①	○	県外、国外の展覧会 に出展し、PRする。
	文化財総合案内 看板の設置	・隣接する美術館サインと併せた看板を制作予 定。	→					本年度は計画のみ	①	△	H31年度に制作す る。
人材	解説や指導を行 う市民の育成と 確保	・市民を対象にした観光ボランティアガイド育 成事業を実施予定。 ・隣接する美術館と併せて、サポーターズ倶楽部 を設立したので、わらじづくり教室などのイベ ント、草刈整備、ガイド育成講座等、様々な事業の 展開。	→	→	→	→	→	観光ボランティアガイ ド育成事業を実施して、 サポーターズ倶楽部 によるわらじづくり講 習会を実施した。	③	△	H31年度以降も講座 を開催する。

#### 【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	2,581	運営需要費など
H31	2,581	運営需要費など
H32	2,581	運営需要費など
H33	2,581	運営需要費など
H34	2,581	運営需要費など



## (4) 胎内市美術館

### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

### 【基本方針】

- 胎内市の古代から現代までの美術品を鑑賞できる美術館
- 子どもから大人まで気軽に訪れ、入りやすい美術館
- 芸術愛好家が集う、市民に開放された芸術文化交流施設
- 樽ヶ橋エリア芸術文化ゾーンの魅力向上に寄与する美術館

### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針	
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)					
プログラム	樽ヶ橋エリア内の 観光施設、文化施設、自然資源等との連携	・樽ヶ橋自然観察会7/7(昆虫・植物)	→						実施し、好評を得た。	②	○	H31年度も継続して実施する。
		・黒川郷土文化伝習館の民具体験とあわせて美術館作品鑑賞の実施	→						市内小学校の3年生が訪れた。	②	○	H31年度も継続して実施する。
	地域に密着、貢献した企画展の開催、展示替等の実施	・春の特別展「早津 剛展」4/28～6/24	→						予定どおり実施し、昨年度と比べ、入館者数が増加した。	②	○	H31年度も年5回の企画展を実施する。
		・夏の特別展「伊藤省風展」6/30～8/19	→									
		・秋の特別展①「金子ボボアート展」9/1～10/14	→									
		・秋の特別展②「佐藤美紀展」10/27～12/22	→									
胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施	・胎内市の美術品鑑賞ツアー 9月中	→						作品解説会は実施したが、ツアーは未実施。	②	△	H31年度以降に彫刻巡り等を実施する。	
	アート体験プログラムのPR	・レザークラフト、昔の遊び体験、スノードームづくり、つるし雛づくり、まが玉づくりなどを広報、新潟日報等でPRする。	→					広報、新潟日報等でPRし、参加者が増加した。	②	○	H31年度も継続して実施する。	
芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究	・市内、市外小中学校美術担当職員との研究会、説明会の開催	→						生徒の美術館見学に先立ち、担当教諭と説明会を行う。	③	○	H31年度以降も実施する。	
	・ジュエリーデザイン教室の開催 12/21～22	→						実施し好評を得た。	③	○	H31年度も実施する。	
施設	施設前庭、周辺環境の整備	・胎内市美術館サポーターズ倶楽部の協力により前庭、周辺環境整備の整備。施設窓ガラス拭き。花壇の整備等を行う。	→						胎内市美術館サポーターズ倶楽部の協力により整備された。	③	○	H31年度以降も実施する。
	展示収蔵室の維持管理	・収蔵室の点検作業。適切な湿度、温度管理を行う。	→						適切に維持管理を実施。	②	○	H31年度以降も実施する。
	美術館案内看板の設置	・国道7号線付近に看板を設置する。	→						企画展ごとに期間限定で誘導看板を設置した。	①	△	H31年度以降に恒久的な看板を設置する。
人材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・胎内市美術館サポーターズ倶楽部で定例会を開催し、人材の育成事業等を実施する。	→						美術館サポーターズ倶楽部定例会を開催し、人材の育成事業等を実施した。	③	○	H31年度以降も実施する。

### 【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	9,565	運営需要費など
H31	9,565	運営需要費など
H32	9,565	運営需要費など
H33	9,565	運営需要費など
H34	9,565	運営需要費など

(5)クアハウスたいたい

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 胎内リゾートの活性化(魅力向上)へ向けた『情報発信・誘引』

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
営業・ 販売	胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売	・胎内ジャージー商品(牛乳・ヨーグルト)、胎内ハムの販売 ・胎内市及び近隣の特産物(加工品)の販売。						胎内ジャージー牛乳や胎内ハム等の胎内市特産品を販売し好評であった。	③	○	継続して特産品の販売を実施する。
	胎内リゾート施設利用者へ、クアハウスたいたい利用割引サービス	・楡形山脈山開き登山、トレッキングツアー参加者⇒入浴割引100円引き ・胎内市観光大使やらにゃん割引⇒入浴割引(大人300円引き・小学生無料) ・SDカード、ニビイカード、各100円引き ・クアハウス割引キャンペーンとして毎月7のつく日と11日 クアハウス利用(プール+お風呂)⇒大人700円 ・胎内リゾート施設利用で入館料割引						実施した。各割引サービス全体の利用実績(H31.1末時点)は前年比:約2%の増であった。	②③	○	利用者の増加に繋がる企画として継続して実施する。
	新規企画の実施	・毎月第2土曜日ファミリーDay(中学生以上1名700円、小学生2名まで無料) ・5月5日子供の日⇒小学生プール利用入館料350円						実施した。子どもを対象とした企画がファミリー層に喜ばれている。	②③	○	継続して実施する。
		・風呂の日割引サービスの検討。(毎月)	→					改修工事の影響で実施できなかった。	③	×	平成31年度以降に実施できるよう検討する。
	新たな観光客や新規会員の誘客対策	・スタンプカードの実施。 ・日帰り温泉施設紹介(割引など)の雑誌等の参加。(民間活力の利用に関連)						Pカードを実施した年間120件位の利用があり好評であった。雑誌等での宣伝広告は少なかった。	③	△	利用者の増加に繋がる企画として継続して実施する。今後はWebでの宣伝活用を検討する。
	民間活力の利用	・H29年度より指定管理期間 5年間更新。(次回:H34年度予定)						指定管理制度2年目	③	○	継続
		・売店販売商品の充実。(GW～夏休み繁忙期に対応) ・秋田物産の開催。						利用者から要望のあった稲庭うどん等の「秋田物産」の販売を実施し好評であった。	①	○	今後も利用者の要望に合う商品の充実を図る。
	利用料金の適正化	・会員入会及び会員更新時に優待券進呈 ⇒ 1カ月に1枚 ・夏休み子供会員(限定一カ月)の実施(一カ月3,000円)						実施した。夏休み子供会員券においては13件(昨年比-3件)であった。	③	○	新規会員の増加に繋がる企画として継続的に実施する。
		・館内修繕に伴う会員料金(長期休館の場合)の設定。	→					必要がなくなったため実施しなかった。	④	×	必要な場合は検討する。
		・入浴回数券発行の検討。	→					条例の改正が必要のため実施できなかった。	③	×	平成31年度以降に実施できるよう検討する。
施設	(胎内リゾート利用者へ)レジャーおよびレストスペースの推進	・トレーニングルームの活用(サークル) ・ヨガ教室(毎週火曜日)、バレエ教室(毎週木曜日)、新しいサークルの勧誘(金曜日Pm6時以降)						各教室を開催した。バレエ教室ではファミリーの利用が増えた。新規で器械体操教室を開催した。	③	○	今後もトレーニングルームを有効活用していく。
	計画的な施設改修	・辺地債を活用した施設改修工事を予定。(H30年度は秋季の予定)						実施した(電気・空調・ポンプ等の設備改修)10月～2ヶ月休館	④	○	改修計画の変更に伴いH31年度以降の改修は未定
人材	胎内リゾートへのコンシェルジュ機能を向上	・胎内リゾート各施設の観光情報・催し等の案内ポスターを掲示。 ・飲食を希望される来館のお客様に「里山食堂」を紹介。						胎内リゾートへの誘客としてポスターの掲示やチラシの配布を行った。	①②	○	他の施設へも今後は積極的に案内していく。

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	185,267	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H31	38,344	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H32	43,303	修繕費・施設運営委託料など
H33	43,303	修繕費・施設運営委託料など
H34	43,303	修繕費・施設運営委託料など

## (6) 越後胎内観音

### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

### 【基本方針】

- 歴史文化財の管理

### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取り組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
PR	パワースポットとしての情報発信	・パワースポットやご利益などの観光的要素を盛り込みながら情報発信する。						実施した。 (年越しライトアップや情報誌WEEKなどへの掲載)	①	○	今後も情報発信していく。
	歴史文化財としてPR	・昭和42年の羽越水害の殉難者の冥福と災害復興等を祈って建立された歴史的経緯を鑑み、歴史文化財と位置づけてPRを行う。						実施した。 (春・秋霊祭や法要、大祭など)	②	○	今後も継続していく。
施設	敷地内の整備	・現在使用していない売店建物について、民間事業者の運営による有効活用を図る。(飲食の提供等)						有効活用できなかった。	①	×	有効活用の方法を引き続き検討していく。

## (7) 楡形山脈・蔵王山塊

### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

### 【基本方針】

- 日本一小さい山脈の登山道の管理と利用者への安全を保つ。

### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取り組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
ツアー・整備	蔵王山塊と楡形山脈の登山ルートを活用	・蔵王山脈・蔵王山塊や楡形山脈を散策するツアーを実施する。						楡形山脈のツアー (春・秋)を実施した。	①	○	今後もツアーを継続していく。
	樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備	・関沢周辺登山道の整備(再測量等)。						営林署から指示のあった再測量を完了した。	①	○	完了
	絶景ポイントと看板等の整備	・登山道の一部(市ノ沢コース)廃道に伴う返地申請を行う(看板等の整備のため)。						市ノ沢コースの返地申請を完了した。	④	○	完了

## (8) 樽ヶ橋河川公園

### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

### 【基本方針】

- 河川公園の活用を充実する。

### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
活用	イベントの開催	・樽ヶ橋エリアの周辺施設や胎内リゾートエリアと連携したイベント(胎内川新緑まつりなど)を開催する。						新緑まつりや楡形ウインドトレイル等、河川公園を利用したイベントを実施した。	①	○	河川公園の利用するイベント等を今後も検討する。
	健康ウォーキングコースでの利用	・健康ウォーキングコースなどの利用を推進する。						健康づくり課が主催する市民ウォーキングイベント(100名参加)を実施し好評であった。	①	○	ウォーキングポイントとしての魅力をPRし推進を図る。
施設	バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入	・イベント以外の通年の活用策を検討する。(バーベキュー広場、簡易レクリエーション設備の導入)						一部実施(バーベキュー)しているが利用が少ない。検討が必要。	③	△	より有効的な活用を検討していく。
	河川公園への誘導・活用	・観光交流センター駐車場から河川公園に通じる階段通路を有効に活用し、河川公園への出入りにおける、エリア内の動線を誘導する。						河川公園へ繋がる階段に案内看板を設置した。以前より多くの人々が往来するようになった。	④	○	より有効的な活用を検討していく。

## (9) 有楽荘

### 【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

### 【基本方針】

- 樽ヶ橋エリアに訪れた人々への飲食の提供。

### 【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
営業	飲食の提供	・胎内産食材を使用したメニュー設定を行い、リピーターに結びつける。 ・お客様にスムーズに食堂まで入って頂ける導線づくり。						メニューの見直しを行い、以降はお客様が増加した。当初から課題となっていた誘導看板を設置することができなかった。	①②	△	今後も胎内産食材を使用したメニューの提供に努める。特産品販売を検討する。H31年度に看板を設置する。

### 【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	11,946	施設運営委託料など
H31	11,449	施設運営委託料など
H32	16,000	施設運営委託料など
H33	16,000	施設運営委託料など
H34	16,000	施設運営委託料など

(10)その他

【基本施策】

- ①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくり推進
- ②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携
- ③エリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成
- ④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

【基本方針】

- 樽ヶ橋エリア全体の景観整備

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					H30年度の 取組み状況 (評価・分析)	関連する 基本施策	達成度 ○△×	H31年度以降 の活動方針
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)				
宣伝	フルーツパーク・シンクルトン記念館等周辺施設との連携	・フルーツパーク、シンクルトン記念館・石油公園、土地改良区の施設・公園などの施設をエリアの観光施設・観光スポットとして組み入れ、施設間の連携を強化し、誘客に努めていく。						シンクルトン記念館と黒川郷土文化伝習館とが連携してPRを実施した。他の施設と連携していない。	②	△	連携した体験イベントを強化していく。
	馬頭観音のPR	・下赤谷の鳥坂神社(馬頭観音)の歴史をPRする。						ポスターの作成やSNSを活用しPRを実施した。年々参加者が増えている。	②	○	今後も継続してPRしていく。
景観	藤の整備	・樽ヶ橋周辺の藤を整備する。						ボランティア団体(樽ヶ橋ゆるゆる隊)と協働で整備を実施した。周辺の藤の整備については検討が必要である。	④	△	今後も継続していく。
	エリア全体の景観整備	・樽ヶ橋エリア各施設が当番制でゴミ拾いや掃除を実施し、来場者が気持ちよく利用できるよう景観の整備に努める。						エリアの各施設が当番制で掃除を実施した。	④	○	今後も継続していく。

## 4 辺地事業債を活用した計画(予定)

注意:計画(予定)は、H30年3月現在(当初)のものであり、財政状況及び辺地計画の見直しなどの理由により、予告なく変更される場合がある。

### ●観光交流センター

目的:新規機能の付加

内容:駐車場の改修及び拡張、園路整備による機能強化

### ●樽ヶ橋遊園

目的:施設更新・新規機能の付加

内容:老朽化した園内建築物の建替え等の施設更新

雨天時の利用機能付加、動物舎の展示機能強化、園内庭園更新

### ●クアハウスたいない

目的:施設の機能維持


内容:機能維持を目的に老朽化した設備機器等を大規模に改修

### ●樽ヶ橋駐車場(クアハウス前)

目的:施設更新

内容:老朽化した駐車場の更新

表 H31.3時点での取組み状況  (で表示)

観光地点名	工事・委託名	経過	計画(予定)					H30年度の取組み状況(評価・分析)	H31年度以降の活動方針
			H29	H30	H31	H32	H33		
観光交流センター	樽ヶ橋遊園園路整備工事	→	→					完了した。	
樽ヶ橋駐車場(クアハウス前)	駐車場整備工事							未実施	H31年度の予定をH33年度に計画変更
樽ヶ橋遊園 (別紙、全体計画図有)	屋根付休憩施設新設工事		→					完了した。	
	園内改修工事			→	→	→		未実施	計画を継続する
	管理棟・動物舎改修工事				→	→		未実施	計画を継続する
	インフラ整備工事		→	→	→	→		一部完了した。	計画を継続する
	設計業務委託	→	→	→	→	→		一部完了した。	計画を継続する
クアハウスたいない	衛生給排水設備工事							完了した。	H31年度の予定をH30年度に計画変更
	電気設備工事		→					完了した。	
	建築工事		→					完了した。	
	設計業務委託	→						完了した。	H31年度の予定をH30年度に計画変更